

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 30 日 (2014.1.30)

【公開番号】特開 2012-61290 (P2012-61290A)

【公開日】平成 24 年 3 月 29 日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報 2012-013

【出願番号】特願 2010-227954 (P2010-227954)

【国際特許分類】

A 6 1 F 5/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 9 月 12 日 (2013.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 ベルト (1) と第 2 ベルト (2) とを有する骨盤ベルトであって、前記第 1 ベルトは、伸縮性を有する多孔性基布からなる広幅のベルトであり、前記第 2 ベルトは、前記第 1 ベルトの中央部に縫合されるパッドと、前記パッドの両端部にそれぞれ接続する前記第 1 ベルトよりも低い伸縮性を有する締め付けベルト部とを備えている、手軽に締め付け圧の調整ができる骨盤ベルト。

【請求項 2】

前記パッドは、幅両端で第 1 ベルトと縫合され、その左右端には矩形リング (3 - 1)、(4 - 1) が固定されているベルト中央部を構成し、一端が第 1 ベルトの有端部 (5) (6) の所定の位置 (7) (8) にテープで縫製され、もう一端が矩形リング (3 - 1)、(4 - 1) を貫通し、その先端部にリング (3 - 2) (4 - 2) を固定している 2 枚のベルト (2 - A - 1) (2 - B - 1) と、前記ベルト (2 - A - 1) (2 - B - 1) と同様に、一端が第 1 ベルトの有端部 (5) (6) の所定の位置 (7) (8) にテープで縫製され、リング (3 - 2) (4 - 2) を貫通しているベルト (2 - A - 2) (2 - B - 2) を備えている請求項 1 に記載のベルト。

【請求項 3】

第 1 ベルトのいずれかの端部 (6) の裏面、第 2 ベルトの各締め付けベルト部 (2 - B - 2) の裏面、(2 - A - 2) の表面には、各々所定の面ファスナーが取り付けられている請求項 1 又は (2) に取り付けられている請求項 1 に記載の骨盤ベルト。